

(2) 東北



東北地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（ は上方に変更、 は下方に変更）。

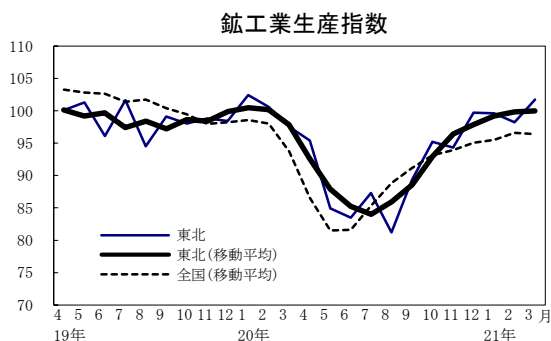
前回からの主要変更点

	前回（令和3年3月）	今回（令和3年6月）	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している	↓
個人消費	このところ弱含んでいる	このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

1－3月期の鉱工業生産は、生産用機械は半導体製造装置等が増加したこと、電子部品・デバイスはコネクタ等が増加したこと等により、前期比3.5%増となった。



(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10-12 月期	1-3 月期	1月	2月	3月
電子部品・デバイス	15.3	18.8	11.5	7.6	▲0.3	1.9
食料品	11.0	▲2.5	▲0.7	6.2	▲3.8	▲1.2
化学・石油製品	9.1	16.9	▲22.4	▲8.7	▲12.2	▲16.9
輸送機械	7.9	16.1	▲4.1	▲2.2	▲3.8	8.0
生産用機械	6.7	18.3	30.5	14.5	▲6.3	2.3
鉱工業	100.0	12.2	3.5	▲0.1	▲1.4	3.6

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 1-3月期、3月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費はこのところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。

(1) 地域別消費総合指数（RDEI（消費））

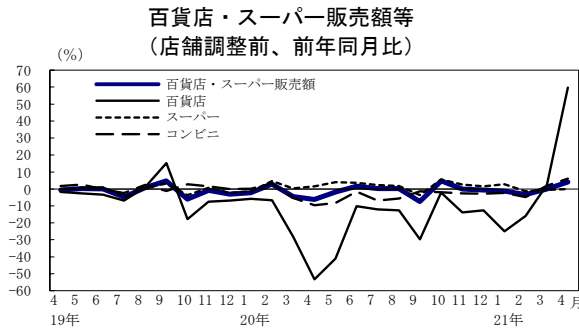
1-3月期は前期比2.4%減となった。月別にみると、1月は前月比2.0%減、2月は同0.8%増、3月は同1.0%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、1-3月期は前年同期比1.6%減となった。月別にみると、1月は前年同月比1.4%減、2月は同3.3%減、3月は同0.2%減となった。

百貨店は、1-3月期は前年同期比13.7%減となった。

スーパーは、1-3月期は同0.2%増となった。



	2021年1-3月	2021年1月	2月	3月	4月
RDEI（消費*1）	▲2.4	▲2.0	0.8	▲1.0	—
百貨店・スーパー(*2)	▲1.6	▲1.4	▲3.3	▲0.2	4.1
百貨店(*2)	▲13.7	▲25.0	▲16.0	2.4	59.7
スーパー(*2)	0.2	2.7	▲1.5	▲0.6	▲0.1
コンビニ(*2)	▲1.7	▲2.4	▲4.8	1.8	6.1
乗用車(*3)	1.6	3.4	▲3.6	4.2	22.1
(季節調整値)(*3)	▲6.0	▲0.9	▲5.2	0.2	2.9

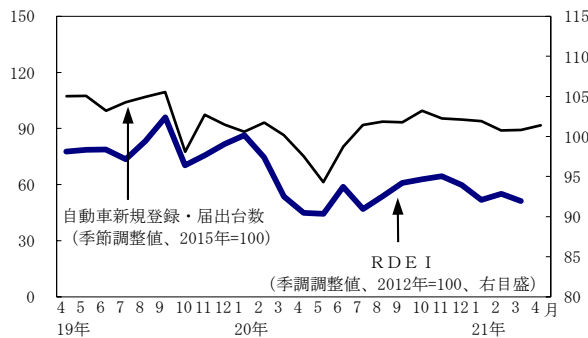
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

2021年4月は速報値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

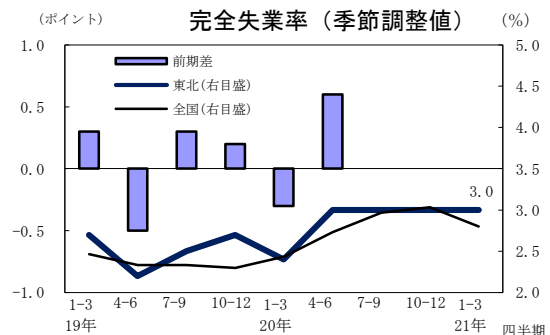
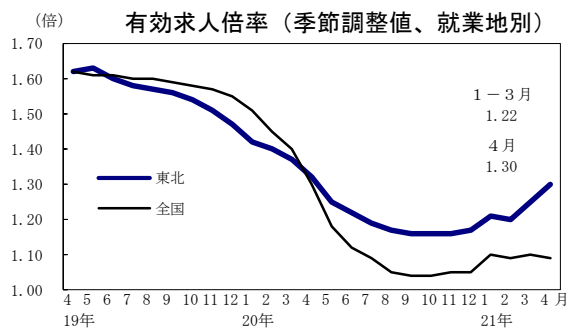
RDEI（消費）と自動車新規登録・届出台数の推移



3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期と同水準となっている。



(13) 景気ウォッチャー調査 (令和3年4月調査) 景気判断理由の概要

2. 東北

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

	分野	判断	判断の理由
	現状	家計 動向 関連	×
企業 動向 関連			<ul style="list-style-type: none"> ・前年、前々年と比較し、受注量が減少したままで回復していない。イベントの開催が復活しない限り、業況に変化はない(出版・印刷・同関連産業) ・首都圏の緊急事態宣言が東北に及ぼす悪影響が拡大しつつある(経営コンサルタント) ・全体として極端に下がっている局面だという感じはない。売上高も3か月前と比べると上向きになっている(建設業)
雇用 関連			<ul style="list-style-type: none"> ・特に小売業中心に派遣社員や正社員、アルバイトの募集が少なくなってきた。ウイズコロナという形ですと下げ止まっているという印象を持っている(人材派遣会社) ・新規求人数が前年同月比で増加している業種が増えてきている(職業安定所) ・改正労働者派遣法により都道府県別最低賃金以上の業種別最低賃金が毎年引上げとなり、人件費がかさんでいく(民間職業紹介機関)
その他の特徴 コメント			<ul style="list-style-type: none"> ：前年の緊急事態宣言で来客数が伸長した反動もあるが、来客数の落ち込みが大きい。先行きの不透明感から、無駄な買物はなく買い控えもみられるなど、買物の仕方が慎重になっているようである(スーパー) ×：当県へのまん延防止等重点措置の適用と、3度目の緊急事態宣言により、取り巻く環境は悪化している(輸送業)
先行き	分野	判断	判断の理由
	家計 動向 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況が仮に落ち着いたとしても、旅行業界的には県外移動の動きが出てこないことにはなす術がない(旅行代理店) ・新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況が良くないなか、先行きはまだまだ不透明であり、景気回復には時間を要する(商店街)
	企業 動向 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・今後の2～3か月では新型コロナウイルスの感染拡大に対する抜本的な解決は見込めない。これまでどおりアクセルとブレーキを交互に踏み分ける政策が継続するとみている(その他非製造業[飲食品卸売業]) ・新型コロナウイルスの影響が予想よりも長く続いているため、回復に若干ブレーキが掛かっている印象を受けるが、現在の回復基調は変わらない(金属製品製造業)
	雇用 関連		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で特定業種にしか動きがない。全体的な景気が上向くまではまだ時間が掛かる(人材派遣会社)
その他の特徴 コメント		<ul style="list-style-type: none"> ：緊急事態宣言によりゴールデンウィーク中の収入が大幅に減る企業が多く、今後の経済活動にも大幅に影響が出る(自動車備品販売店) ×：新型コロナウイルスの感染の拡大により、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用がなされており、地域経済全体への影響が大きくなっている(窯業・土石製品製造業) 	

(D I) 現状・先行き判断D I (東北)の推移(季節調整値)

